

【担当教員名】 中山和美 三澤寿美	対象学年	3	対象学科	看護
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	30

【<概要>又は<一般目標：GLO>】

- 1 妊娠期・分娩期・産褥期にある母親と胎児・新生児およびその家族が正常経過を逸脱した場合の看護を学ぶ。
- 2 褥婦と新生児およびその家族の看護の実際を学ぶ。

【<学習目標>又は<行動目標：SBO>】

- 1 妊婦と胎児およびその家族の正常経過を逸脱した身体的・心理的・社会的状態を説明できる。
- 2 産婦と胎児・新生児およびその家族の正常経過を逸脱した身体的・心理的・社会的状態を説明できる。
- 3 褥婦と新生児およびその家族の正常経過を逸脱した身体的・心理的・社会的状態を説明できる。
- 4 正常経過を逸脱した妊婦・産婦・褥婦と胎児・新生児およびその家族に対する看護を説明できる。
- 5 正常経過を逸脱した妊婦・産婦・褥婦と胎児・新生児およびその家族が利用できる社会資源を説明できる。
- 6 正常経過を逸脱した妊婦・産婦・褥婦と胎児・新生児およびその家族に対する一般的看護技術を説明できる。
- 7 褥婦と新生児およびその家族のアセスメント、問題点の抽出、期待される結果、具体策を立案できる。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	1 妊娠中に起こりやすい異常および胎児の異常とその看護 (1)	145	講義
2	2 妊娠中に起こりやすい異常および胎児の異常とその看護 (2)	145	講義
3	3 分娩中に起こりやすい異常および胎児の異常とその看護 (1)	245	講義
4	4 分娩中に起こりやすい異常および胎児の異常とその看護 (2)	245	講義
5	5 産褥期に起こりやすい異常とその看護 (1)	345	講義
6	6 産褥期に起こりやすい異常とその看護 (2)	345	講義
7	7 新生児期に起こりやすい異常とその看護 (1)	345	講義
8	8 新生児期に起こりやすい異常とその看護 (2)	345	講義
9	9 周産期にある対象者の課題と問題解決 (看護過程の展開1)	67	グループワーク (母性看護学教員)
10	10 周産期にある対象者の課題と問題解決 (看護過程の展開2)	67	グループワーク (")
11	11 周産期にある対象者の課題と問題解決 (看護過程の展開3)	67	グループワーク (")
12	12 周産期にある対象者の課題と問題解決 (看護過程の展開4)	67	グループワーク (")
13	13 周産期にある対象者の課題と問題解決 (発表1)	67	グループワーク・発表 (")
14	14 周産期にある対象者の課題と問題解決 (発表2)	67	グループワーク・発表 (")
15	15 試験		

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書 (必ず購入する書籍)	リプロダクティブヘルスケア演習Ⅰのテキストを使用します。			
参考書				
その他の資料	必要に応じて提示します。			

【評価方法】 出席 10 グループワークへの参加度 30 試験 60	【履修上の留意点】 課題意識をもって主体的に学習してください。
---	------------------------------------